

平成26年度（2014年度）

神戸大学大学院国際文化学研究科博士課程後期課程

入学試験・進学者選考筆記試験問題

区分：日本語

科目：小論文

平成 26 年度（2014 年度）神戸大学大学院国際文化学研究科博士課程後期課程

入学試験問題 日本語（小論文）

（注）問題用紙 4 枚、解答用紙 2 枚、下書き用紙 2 枚
問題 I, II の解答は、それぞれ指定された解答用紙に記入すること

問題 I

次の文章を読んで、以下の問 1～問 2 に日本語で答えなさい。

（引用文省略）

（出典：西山雄二（編）（2013）『人文学と制度』 東京：未来社 pp.7-9 一部改変）

- 問 1. なぜ、人文学の教育研究がその今日的な妥当性（relevance）や適切性（pertinence）を厳しく問われているのか。150 字以内で説明しなさい。
- 問 2. 下線部①に書かれている内容を、300 字以内で具体的に説明しなさい。

問題Ⅱ

次の文章を読んで、以下の問1～問2に日本語で答えなさい。

(引用文省略)

(出典：森博嗣 (2011) 『科学的とはどういう意味か』 東京：幻冬舎 pp.113-116 一部改変)

- 問1. 問題文にある「スコットランドの羊」というジョークが示唆するところを、100字以内で説明しなさい。
- 問2. 自身が専門とする学問領域において、問題文の述べるように「科学的であるため」には、どのようなプロセスで物事を検討するべきか、専門領域における具体的な事象を例に挙げて600字以内で論じなさい。